

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公

令和 3 年 2 月

いきもの語り（重症児デイ オハナ・重症児デイアモ）

チェック項目	はい	どちらでもない	いいえ	工夫している点や改善すべき点
事業所の設備等の設備について、バリアフリー化の配慮が適切に行なわれている	21	2		オハナ入り口のレールで利用者の足がひっかかることがある為、職員に周知し、気を付けている。玄関マットもよれて転びやすい為、外したら転ぶことがなくなった。
職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	23			毎月、事業所内研修を行っている。外部研修も積極的に参加している。講師を呼んでの研修もやっている。職員の技術向上の為、実技の面での研修をもっと出来る
活動プログラムが固定化しないよう工夫している	22	1		一月分のプログラムがカレンダーに一覧化され、固定化を予防している。オハナとアモで情報を共有しながら子供たちが楽しむ姿を想像しながら考えるのが楽しみ。
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	22	1		朝の常勤ミーティング、非常勤が来てからの昼ミーティングを行っている。久しぶりに会う子の事もミーティングで最近の様子を確認できるので安心して支援できる
日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	22	1		カルテ記入用紙も見やすくわかりやすいよう改善した。記録を振りかえり、ケース会議を行い支援の検証、改善につなげていく。個人のカルテは毎回記録し、いつでも
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	23			事業所に来ていただいたの面談や、ノートのやり取り、毎回の送迎時にお話をさせてもらっている。ラインでの連絡も密に行っている。
下校時の子供の様子などを学校との情報共有ができていますか	22	1		学校迎えの時に一人ひとりの様子を聞くようにしている。
個人情報に十分注意している	23			定期的に職員にリスクマネジメントについてチェックしている。
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	20	3		年度はじめにスタッフ、保護者に配布している。避難訓練も年2回、緊急時対応の研修も行いよりよい対応ができるよう努めていく。
ヒヤリハット・アクシデントをスタッフ間で情報共有できている	23			すぐに情報を共有するとともに全体ミーティングでも問題点の話し合いを行っている。用紙に記入しミーティングでも伝えている。ファイルにまとめてあり、いつでも閲覧できるようになっている。